WEEKLY REPORT

国際ロータリー第2600地区　上田ロータリークラブ
（創立1959年11月12日）

2022-2023年度 国際ロータリーテーマ
イマジン ロータリー

R.I.会長　ジェニファーE・ジョーンズ
国際ロータリー第2600地区　ガバナー　上沢 広光

2022-23年度 上田ロータリークラブ
●会長　矢島 康夫　●副会長　小幡 晃大・三井 英和
●幹事　櫻井 雅文　●会報委員長　酒巻 弘

Rotary　イマジン ロータリー

第２９１１回例会（令和５年６月19日）

ホームページQR

［会長挨拶］　矢島康夫　会長

皆様こんにちは。

消防団の歴史は、皆様ご承知の８代将軍徳川吉宗の時代に始まる町火消だと言われています。江戸市中にいろは48組、本所、深川に16組、合わせて64組で守らせていました。いろは48組はいろはの文字を組名としたもので、いろはのうち「へ」「ら」「ひ」「ん」はそれぞれ「百」「千」「万」「本」に置き換えられて使用されていました。その後、明治27年消防組法により府県知事の管掌として、警察署の管轄になり、大正末期には飛躍的に全国組織にと発展していきます。

昭和に入り昭和14年「警防団令」により警察の補助機関として従来の水火災消防の任務に防空の任務を加えられて終戦に至ります。戦後昭和23年３月24日に新たな消防団令が公布され、市町村においては、消防署と消防団のいずれか１つ、もしくは両方の設置が義務付けられました。したがって消防団は義務設置ではなくなり、今でも大阪市には消防団がありません。そして、指揮監督権が警察から市町村長に移され現在に至っています。上田市においては、４市町村の合併当初は38個分団、翌年には32個分団、条例定数2450人いた団員も少子高齢化の進展により減少に歯止めがかからず、現在では29個分団、定数1850人まで減少しています。今年は、自治体消防発足75周年の記念すべき年に当たりますが、団員減少はこの後も続くものと予想されます。複雑多様化する災害に備え、防災に対する地域の対応をもう一度考える時期に来ていると思います。

［役員・理事退任挨拶］

■理事（副幹事）　湯田勝己さん

副幹事としてクラブ計画書の担当と言う事でしたが、理事の皆さんや各委員長さんのご協力のもと作成する事ができましてありがとうございました。

理事会での議事録の作成では１回目を欠席してしまったので櫻井幹事に作成してもらいましたが、２回目以降は次の例会までには議事録を配布できました。

矢島会長、櫻井幹事をはじめ会員の皆様には１年間お世話になりありがとうございました。

■会計　窪田秀徳さん

昨年担当された小山宏幸先生は、会計のプロだったので私には重荷であると躊躇していました。業務としては、ネットバンキングの承認業務が主でした。月内で事務局から何度かの支払い期日記載の承認依頼メールが届き、支払い指定期日を忘れないようにと早期承認業務に努めてきました。一年間、適度な緊張感の中でパソコンを見つめつつ黙々と業務遂行に努めてきました。後は、決算書作成業務となりますが、次年度に迷惑をかけないよう１日も早い決算書が完成できますよう事務局と協力してまとめたいと思います。慣れない仕事でしたが、矢島会長、櫻井幹事、役員理事、クラブ会員の皆様の温情に見守られながら無事終了することができそうです。お世話になりました。

■副会長（第二クラブ奉仕）　三井英和さん

１年間副会長を務めさせていただきまして、まずは、メンバーの皆様全員に御礼申し上げます。担当の委員長さん皆様がしっかりした方々で全部お任せできたこと、ならびにメンバーの皆様が委員会活動にご協力していただいたおかげで１年間難なく乗り切れたと思っております。本当に感謝感謝の一言でございます。本当に皆さんありがとうございました。

■幹事　櫻井雅文さん

幹事の大役を引き受けてから早１年になります。もとより引っ込み思案で小心者の自分にはこのような役を全うできるか大変不安でしたが、皆様の絶大なるご協力により、なんとか今日まで続けることができました。今年度は新型コロナ対応の変更や新たな例会場の選定など、様々なことがあり、本来のロータリー活動への取り組みが十分にできなかったのではと反省しています。至らない点が数多くあったと思いますが、役員の方々をはじめ、会員の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。

■会長　矢島康夫さん

会長職もあと僅かとなりました。本年度は、コロナ禍も収まりつつあり、全例会をリアルで開催でき、すべての事業も開催できましたことは、本当に良かったと思います。

少々独りよがりのところがあり、また、根回し下手とあいまって、コミュニケーション不足も手伝い、副会長をはじめ委員長の皆様に多大なるご迷惑をおかけしたことを反省しています。

また、会長挨拶も本来であればロータリーの情報を毎回少しずつ入れて行かなければならない訳ですが、自身のロータリーの経験値もなく、何となくＲＩの方針の方向が少し違うように思えて、話すことができなかったことは、申し訳なく思っています。

来年度からは、例会場も変更となりますが、皆様の協力を賜りましてスムーズに移行できますようお願い申し上げ、退任の挨拶とさせていただきます。

１年間大変お世話になりました。衷心より御礼申し上げます。

［『ロータリーの友』　６月号紹介］

雑誌委員会　田邉利江子　委員長

６月はロータリー親睦活動月間です。

横書き７ページ

◆特集

世界の仲間と趣味でつながる
ロータリー親睦活動グループ

ロータリーには、共通の趣味や関心を持った人たちが集まって活動をする国際ロータリー（ＲＩ）公認の親睦活動グループが100以上あります。趣味を通じて海外の仲間とつながり、ロータリーの国際性を体感しよう！ということでグループの活動が紹介されています。

親睦活動のグループには、いろんなジャンルのグループがありますので、ロータリアンの幅広さが伺えます。ご興味のあるグループがありましたら、ぜひ覗いてみてはいかがでしょうか。

横書き16ページ

◆ＰＢＧ地区加盟50周年！

世界の見本となる地区を目指してグアムで50周年の記念式典を開催

ＰＢＧ（パシフィック ベイスン グループ）には、グアム・サイパン・パラオ共和国・ミクロネシア連邦からなる９つのクラブで構成されており、このクラブは日本の第2750地区に所属しています。地域に根付いたボランティア活動だけでなく、国際的な奉仕活動、特にＰＢＧに向けた支援に力を注いでいくことを目標にしています。

縦書き９ページ

◆この人訪ねて

那覇南ロータリークラブ　会長　林　秀一さん

林さんは沖縄のサンゴの海に魅せられて29歳の時に、那覇市に「琉球治療院」を開業しました。高齢者や障害者の方々の自宅や施設に伺い、きめ細かいリハビリ、機能訓練、鍼灸マッサージなどをするこの訪問治療院は人気店になり、県内に10店舗、６年後には全国でフランチャイズ展開を始め、約200店舗までに拡大し、今後は更に500店舗を増店する予定があるそうです。その他にも、老人ホーム・デイサービスなど事業は拡大中。と、ここ

までの話を聞くと順風満帆と思いますが、琉球治療院を開業する２年前、林さんが27歳の時に経営コンサルタント業を始めていました。順調でしたが、他の事業に手を出しては失敗を繰り返し、騙され、またお金を持ち逃げされて信頼していた人に裏切られたりという人生の経験をされています。失敗すればするほど稼がなきゃと思い欲に走り、そして泥沼はまるという、自分を見失ってしまっていた時期があったそうです。

このような時に、林さんの心の支えとなり、人生の節目のヒントをくれたのは、おばあさまでした。おばあさまは節約の達人でしたが、困っている人がいれば、自分そっちのけで助ける方でいらっしゃいました。老人福祉の仕事を始めたのも、おばあさまの影響があったそうです。「福祉の仕事は、営利追求だけでは必ず行き詰まってしまいます。現在、直営店の琉球治療院では、月にのべ１万人治療をしていますが、店舗は沖縄本島だけでなく離島にもあり、採算を合わすのが難しく、儲けだけを考えてはできないことがあります。」と林さんはおっしゃっています。ちなみに、沖縄で事業を始める時にも詐欺に合ってしまいました。

色々と大変なこともありましたが、沖縄は人情があっていいところですと、泣き笑いを繰り返し、今、林さんは、沖縄で、そして那覇南ＲＣでご活躍をされています。

縦書き13ページ

◆卓話の泉

東ＲＣ　渡辺皮膚科・形成外科クリニック院長
渡辺敏成さんの卓話

「皮膚とスキンケア」について紹介されています。

肌の大敵は乾燥で保湿が重要です。スキンケアについてお話をされています。

縦書き14ページ

◆『ロータリーの友』創刊70周年特別企画
俳句コンテスト

このコンテストに投句された531人の中から選ばれた優秀句が紹介されています。秀作には、岡谷エコーＲＣ熊澤晶子さん、佳作には、上田西ＲＣ 成田守夫さん、岡谷エコーＲＣ 宮坂敏子さんの句が選ばれています。

縦書き20ページ

◆友愛の広場

岡谷エコーＲＣ　自然と人間愛あふれる『俳句帖』を出版

毎週発行する「クラブ会報」を読んでもらえるように、文芸欄を設けました。創立会員でもある、会員歴47年の宮坂勝彦会長さんが俳句を詠み、熊沢祥吉さんが挿絵を添えてコラム風に。丸２年毎週掲載し、100句近い作品を2022年８月『宮坂勝彦俳句帖』として冊子にしました。岡谷エコーＲＣさんは**「地球のために何かをしたい」**を永遠のテーマとして掲げています。いつまでも自然を愛し、人を愛するクラブでありたいということです。

縦書き29ページ

◆ロータリーアットワーク　青少年懇談会の開催　佐久ＲＣ

青少年奉仕プログラムとして「佐久だからこそできる人材教育とＳＤＧｓから一人ひとりができるアクションを考える」をテーマに若者との懇談会を開催しました。

ロータリーの友６月号の締めくくり

横書き４ページ

◆ＲＩジェニファー・ジョーンズ会長からのメッセージ

私たちはこれからも、地球環境を改善し、インパクトある方法でストーリーを伝え、ＤＥＩ（多様性、公平さ、インクルージョン）を胸に、人々の声に耳を傾けられるロータリーを「イマジン」していきましょう。今年度、皆さまにお会いできたことに感謝するとともに「イマジンロータリー」の活動にご尽力いただいたことに、心からお礼申し上げます。次年度は「世界に希望を生み出そう」をテーマに、これらの取り組みを継続していきましょう。皆さまと共に活動できて、光栄でした。

とＲＩ会長からのメッセージです。

横書き31ページ

◆イアン H.S. ライズリー ロータリー財団管理委員長からのメッセージ

この１年間、ロータリー財団は多くのことを達成しました。ポリオとの闘いを最後まで継続していく決意を新たにし、ロータリーと世界ポリオ根絶推進活動（ＧＰＥＩ）のパートナー団体は、活動を続けています。この計画に合わせて昨年10月、ロータリーとビル＆メリンダ・ゲイツ財団、国際社会は26億ドルを拠出しました。

私たちはポリオを根絶するために何が必要かを理解し、そのための戦略を持っています。世界を変えるのは、他の誰でもない私たち自身です。

その他、多くのロータリークラブでの活動が掲載、紹介されています。

本日ご紹介した記事について、より詳しい内容は『ロータリーの友』をご覧ください。

最後に、土屋副委員長さんとは２期連続で、委員長・副委員長として委員会活動をさせていただきました。とても頼りになるパートナーさんです。感謝いたします。

それではこれで、雑誌委員会 今期『ロータリーの友』の紹介を終えたいと思います。皆様、一年間ありがとうございました。

[幹事報告]　　櫻井雅文　幹事

１．米山奨学会
　ハイライトよねやま279号
２．地区事務所
　ロータリー財団寄付明細表
　(2023年５月)
　米山記念奨学会
　　①寄付金納入明細総合表(2023年５月)
　　②寄付金納入明細表(2023年５月)
　　③表彰一覧(2023年５月)
　　④寄付金傾向(2023年５月)
３．上田ローターアクトクラブ
　次年度の方針について
４．諏訪湖ＲＣ
　事務局住所・事務局員変更のお知らせ
５．豊かな環境づくり上小地域会議
　令和５年度豊かな環境づくり上小地域会議表彰の受賞者の決定について
　令和５年度豊かな環境づくり上小地域会議通常総会等の開催について
６．上田市社会福祉協議会
　令和５年度上田市福祉協議会団体会費の納入について
７．例会変更
　上田六文銭ＲＣ　７月11日㈬　定受なし

[ニコニコＢＯＸ]　　宮川　泰　副委員長

石井懋人さん　出田行徳さん
伊藤典夫さん　金子良夫さん
木内孝信さん　窪田秀徳さん
桑原茂実さん　小山宏幸さん
酒巻弘さん　櫻井雅文さん
島田甲子雄さん　春原宏紀さん　関啓治さん　関勇治さん　滝沢秀一さん　田邉利江子さん　田原謙治さん　布施修一郎さん　増澤延男さん　宮川泰さん　矢島康夫さん　柳澤雄次郎さん　米津仁志さん　保科茂久さん

本日喜投額　24名　￥　34,000
累　計　　￥1,902,000

[例会の記録]

司会：小山宏幸　会場・出席委員
斉唱：ロータリーソング「我等の生業」
●退任挨拶
●『ロータリーの友』紹介
●会長挨拶
●幹事報告

[ラッキー賞]

窪田秀徳さん
(内河利夫さんより、ねんりん家バームクーヘン)

[出席報告]　　小山宏幸　委員長

	本日	前々回 (6/5)
会員数	55	56
出席ベース	52	52
出席者数	38 コロナ欠席1	43
出席免除(b) ( )内は出席者数	5(2)	5(1)
出席免除(a)	0	0
メークアップ ( )内はMake up後		2(45) コロナ欠席1
出席率	75.00	88.46

[本日のメニュー]

●牛タンハンバーグ　●温野菜　●ちょこっとカレー

[次回例会予定]

７月10日㈪　役員・理事・小委員長の就任挨拶

（７月３日発行）

【会報担当】　木内孝信　会報委員